

千葉県教育研究会 技術・家庭科教育部会だより

技術・家庭科教育部会 広報部

今年も、暑い日が続くようになり、いよいよ夏本番になってまいりました。会員の皆様には日頃より本会に多大なるご協力を頂き、誠にありがとうございます。

さて、6月19日(水)の印旛郡栄町 ふれあいプラザさかえにおける研究大会並びに定期総会は、振興会の皆様をはじめ、多くの来賓の方々や各支部の先生方のご臨席を頂き、盛会のうちに終わりました。印旛支部の結束力が遺憾なく発揮された、素晴らしい研究大会になりました。



定期総会から

定期総会では、平成24年度活動報告、決算・会計監査報告、平成25年度活動方針案及び予算案に関する件、役員選出などの報告・議事が進められ、大会宣言により締めくくられました。

本年度の感謝状贈呈者は次の先生方です。(敬称略・順不同)

山武	菅藤 孝	東葛飾	町田 達雄	千葉	鈴木 芳朗	千葉	平野 道子
香取	伊藤 静枝	東葛飾	永井 眞理子	東総	伊藤 順子	夷隅	黒川 薫
夷隅	渡邊 恵子	夷隅	君塚 恵津子				

作品展から

今年の作品展も、県内より優秀な作品を集め、開催することができました。どの作品も創意工夫を凝らし、素晴らしい作品でしたが、その中で次の作品が全国ものづくり展、関ブロ大会に出展することになりました。

全国ものづくり出展作品 教育長賞 (☆10月24日開催の全国・関ブロ大会作品展にも出品)

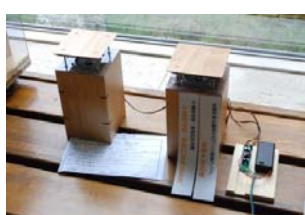


「マルチラックとアクリルLEDライト」
富津市立大貫中学校 山口 純平



佐倉市立志津中学校
種橋 和美

振興会長賞 (☆10月24日開催の全国・関ブロ大会作品展にも出品)



「オリジナル・スピーカー」
木更津市立清川中学校
橋口 桜



「キューブラック」
船橋市立坪井中学校
水上 凌我



「防災頭巾」
八街市立八街北中学校
磯部 加織



「パジャマ・パジャマ入れ」
千葉市立大椎中学校
三並 瑠奈

——分科会提案から——

10月の関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会千葉大会に向けて、全体会、各分科会の発表が行われ、それぞれ講師の先生よりご指導頂きました。

全体指導講評

千葉大学教育学部 教授大河内 信夫 様

千葉大学教育学部 教授久保 桂子 様

分科会指導講評

第1分科会（材料と加工に関する技術）	船橋市教育委員会	指導主事 斎藤 周平 様
第2分科会（エネルギーに関する技術）	南房総教育事務所	指導主事 清水 善治 様
第3分科会（生物育成に関する技術）	千葉市教育委員会	指導主事 山田 克彦 様
第4分科会（情報に関する技術）	東葛飾教育事務所	指導主事 高橋 一夫 様
第5分科会（家族・家庭と子どもの成長）	船橋市立若松中学校	教頭 井川富美子 様
第6分科会（食生活と自立）	富里市立富里南中学校	校長 相京 貢 様
第7分科会（衣生活・住生活と自立）	千葉県総合教育センター	研究指導主事田代 邦子様
第8分科会（身近な消費生活と環境）	千葉市教育委員会	指導主事 田村 真理 様



——平成25年度全国・関ブロ千葉大会 に向けて——

10月24日（木）、25日（金）の関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会千葉大会に向けて、全国統一研究テーマ「生活を創り、社会でより良く生きる力を育てる技術・家庭科教育」のもと、県の研究主題「確かな知識と技術を身に付け、社会の変化に対応し、生活に活かす力を育む学習指導の在り方」で、県研究部の榊原先生・渡邊先生から、全体提案がありました。



——お知らせ——

- ☆ 全国・関ブロ大会の様々な情報が、情報部の作成する Web Page に掲載されています。
詳しくは、<http://ajgika.ne.jp/~gikachiba/ajak2013/download.html> まで。
- ☆ 第10回千葉県中学生創造ものづくり教育フェアが11月16日（土）に千葉県総合教育センターで開催されます。本年度も多くの学校の参加をよろしくお願いいたします。

——編集後記——

今年も多くの方のご協力により、部会だより第一号を発行することができました。今後も年3回の部会だよりを発行し、各地の作品展や研究大会などのお知らせをしたいと思います。本年度、よろしくお願いいたします。

《千葉県教育研究会 技術・家庭科部会 広報部 千葉市立打瀬中学校 北島 啓行》

千葉県教育研究会 技術・家庭科教育部会だより

技術・家庭科教育部会 広報部

今年も、早いもので残すところあとわずかになりました。会員の皆様には、日頃より本会に多大なるご協力を頂き、誠にありがとうございます。今年は、全日本中学校技術・家庭科研究大会が本県で開催され、部会にとってもとても有意義な一年となりました。

——千葉県中学校創造ものづくり教育フェアから——

11月16日（土）に県総合教育センターにて千葉県中学生創造ものづくり教育フェアが開催されました。当日は、多数のご来賓をお迎えし、盛大に競技が行われました。会場には早朝より多数の生徒・保護者が来場し賑わいました。なお、詳細についてはGI☆KA CHIBA Web ページもご覧ください。

<それぞれの部門の結果> (敬称略)

「ものづくり」部門 — 木工の技	☆上位大会はなし
1位 富津市立大貫中学校 山口 純平 (県知事賞)	
2位 富津市立大貫中学校 清水 栄一 (県会長賞)	
3位 富津市立大貫中学校 石井 綾乃 (県会長賞)	
「ものづくり」部門—アイデアバッグ	☆上位2名が関東大会に出場
1位 市原市立辰巳台中学校 齊藤 亜美 (県知事賞)	
2位 いすみ市立大原中学校 渡邊 悠花 (県会長賞)	
3位 千葉大学教育学部附属中学校 下谷 明里 (県会長賞)	



「ものづくり」部門—お弁当コンクール ☆第1位が全国推薦へ

1位 (県知事賞) 千葉市立末広中学校 (神崎 美帆・福嶋 望夏・三笠 真美)
2位 (県会長賞) 勝浦市立興津中学校 (屋代 真由・米元 春奈)
3位 (県会長賞) 勝浦市立興津中学校 (渡邊 美咲・佐久間 董)
[キッコーマンおいしい記憶賞] 勝浦市立北中学校 (関 洋貴・關 勇・伊丹 優介)
[学校給食会理事長賞] 勝浦市立興津中学校 (秋葉なるみ・渡邊 美陽)
[審査員特別賞] 勝浦市立北中学校 (磯野 友紀・磯野 一貴・佐々木孝義)
[東京ガス エコ・クッキング賞] 千葉大学教育学部附属中学校 (原 希裕・酒井 裕史)
[学校賞] 船橋市立若松中学校

「ロボットコンテスト」部門 ☆各部門の1, 2位、特別賞、敢闘賞の9チームが関東大会に出場

ロボコン大賞	山武市立山武中学校 "New 山武士" (県知事賞・応用部門)
授業部門	第1位 一宮町立一宮中学校 "一宮 D"
	第2位 一宮町立一宮中学校 "一宮 A"
	特別賞 千葉大学教育学部附属中学校 "しずまぬ太陽"
	敢闘賞 一宮町立一宮中学校 "一宮 B" 敢闘賞 一宮町立一宮中学校 "一宮 C"
応用部門	第1位 山武市立山武中学校 "New 山武士"
	第2位 成田市立中台中学校 "天照"
	特別賞 習志野市立第一中学校 "GULUPOI"
	敢闘賞 千葉市立おゆみ野南中学校 "Project L.P."



<木工の技、アイデアバッグ、お弁当コンクールの各1位の作品とロボットコンテストの様子>

——全日本中学校技術・家庭科研究大会 千葉大会より——

10月23日（水）～25日（金）にかけて、全日本中学校技術・家庭科研究大会が研究主題、「確かな知識と技術を身に付け、社会の変化に対応し、生活に活かす力を育む学習指導の在り方」のもと、我が千葉県で8分科会に別れて開催されました。全体会では、文部科学省初等教育局教育課程課 太田 知啓様、千葉県教育長 瀧本 寛様、千葉市教育長 志村 修様をはじめ、多数のご来賓をお招きし、盛大に開催されました。



三浦 登 全日本会長



山本 嘉則 大会委員長



瀧本 寛 千葉県教育長



志村 修 千葉市教育長

研究協議では、千葉県の提案の後、2県の提案がされました。



徳島県提案

「様々な問題と向き合い、解決する力を育む技術・家庭科教育」——「深く考える授業」の創造——

群馬県提案

「学んだ知識や技術を主体的に活用し、豊かな生活を創造する生徒の育成」

指導講評は文部科学省初等中等教育局教育課程教科調査官の上野耕史、筒井恭子両先生より研究の視点、評価についてのお話を伺うことができました。恒例の記念講演は、これからの女性の新しいライフスタイルを提唱した「女性の品格」が大ベストセラーとなった、昭和女子大学学長の板東 眞理子 氏をお招きして、「夢を実現する七つの力」という演題のもと、ご講演を頂きました。七つの力とは、グローバルに生きる力、外国語を使う力、ITを使いこなす力、コミュニケーションをとる力、問題を発見し目標を設定する力、一歩踏み出して行動する力、自分を大切にすることであり、非常に興味深い内容でした。



各分科会の授業者等は下記の通りです。

分野	分科会		授業者（敬称略）	会場校	他県発表
技術	第1	A 材料と加工	笹谷 修一	船橋市立法田中学校	埼玉・東京
	第2	B エネルギー変換	岡本 誠士	君津市立周西中学校	山梨・群馬
	第3	C 生物育成	青木 聖典	千葉市立轟町中学校	長野・茨城
	第4	D 情報	高橋 勇三	野田市立岩名中学校	新潟・神奈川
家庭	第5	A 家族と家庭	松村 悠子	野田市立北部中学校	東京・栃木
	第6	B 食生活と自立	細川 浩美	佐倉市立佐倉中学校	長野・茨城
	第7	C 衣・住生活と自立	高松 洋子	いすみ市立岬中学校	埼玉・群馬
	第8	D 消費生活と環境	迎 寿美 矢内 美佳	千葉市立轟町中学校	栃木・神奈川

——編集後記——

第2号は、千葉県中学校創造ものづくりフェア、全日本千葉大会、関ブロ千葉大会の内容を掲載しました。第3号では、各地の作品展や本年度の活動内容、来年度の研究計画などを掲載したいと考えております。新しい情報やご意見などありましたら、広報部までお知らせいただければ幸いです。

《千葉県教育研究会 技術・家庭科部会 広報部 千葉市立打瀬中学校 北島 啓行》

千葉県教育研究会 技術・家庭科教育部会だより No3

技術・家庭科教育部会 広報部

——本教科の果たす役割——

千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会 会長 山本 嘉則

我が国はいうまでもなく鉱物資源には恵まれていません。さらに広い国土で農業生産が充実しているとは言えないでしょう。普段から、多くの食糧を外国からの輸入に頼っています。街で天ぷら蕎麦を食べるとすると、国産のものは水とネギくらいだという恐ろしい現実があります。しかし、その恵まれない狭い国土に多くの人間が生活しています。我が国はこの人的資源の活用でしか世界と伍していけません。だから教育の果たすべき役割は非常に大きいのです。しかし、それにしては先進国において教育にかける予算の割合は世界最低でもあります。その中で世界に引けをとらない教育水準を保っているのは、日本の教員が優秀で勤勉であることはいまでもありません。

本教科は「創意工夫する人材の育成」を任された教科です。その責任は重いものがあります。もしその教育に失敗し、人材を作り出せないと、無敵艦隊を誇ったスペインのように栄光を失いかねません。スペインの衰えは人材の枯渇です。あまりに広く世界を支配したために優秀な人材が国外に出て行き、国内にいなくなったのです。

かつて東洋に優れた技術力を持った国があったそうです。今は人口も少なく産業も見べきものがない国になり、貧しい生活をしています。その名は日本と言います。

こうならないためには優秀な人材育成は絶対に欠かせません。そしてその人材は目の前にいる生徒そのものだと言えます。工夫する場面に授業で増やし、賞賛しましょう。きみならできると自信を植え付けましょう。

多年に渡り、本教科の教員であって良かったと思います。また、いろいろな人の協力が無ければ何もし得ないことを痛切に感じました。これからは、側面より本教科を支える事に力を注ぎたいと思います。長い間ありがとうございました。

——研究を終えて——

千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会 副会長・研究部長 加藤 勇

本年度は、全国中学校技術・家庭科研究大会及び関ブロ技術・家庭科研究大会が実施される年となり、昨年度に引き続き、『確かな知識と技樹を身に付け、社会の変化に対応し、生活に活かす力を育む学習指導の在り方』という主題のもと、研究を進めてまいりました。

例年、統一テーマの基、県下各支部において研究を進めていただき、「研究のまとめ」の形で成果等を冊子にて提供させていただきましたが、今年は、その成果を全国へ発信する、大変良い機会にめぐまれたと感じております。

研究部においては、ごく少人数でのスタートで、先々の見通しに不安を抱える日々でしたが、本年度は部員の人数も増え、また事務局の方々の献身的な取り組みもあり、無事大会を迎え、また終了することができましたこと、安堵の念であります。

さらに、各支部におかれましては、無理なお願いや依頼等の中、また、研究を進めにくい面もあったと思われる中、支部理事の方、研究主任の方を始め、実際に授業や準備に携わってくださった方々の日夜問わずのご努力のお陰で、みごとな研究発表がなされましたこと、心より感謝申し上げます。

研究は、行き着くところは生徒のためであります。この大会を通して、研究されましたこと、またその成果が、これからの子ども達の教育へ活かされていくことを、また、全国津々浦々で、活用されていくことを願っております。

これまでご指導いただきました各方面の方々、そして実際に携わってくださった方々に改めまして御礼申し上げます。ありがとうございました。

——第14回全国中学生創造ものづくり教育フェアより——

平成26年1月25日(土)、26日(日)の両日、東京都の江東区新木場タワー、中央区立佃中学校、女子栄養大学駒込キャンパスの3つを会場として、全国中学生創造ものづくり教育フェアが開催されました。県の素晴らしい上位作品が出品され、どの作品も「製作者の熱い思い」が感じられるものでした。

- ※ **木エチャレンジ コンテスト** (受賞者氏名 敬称略)
文部科学大臣賞(1位) 「マルチメディアラック」 富津市立大貫中学校 山口 純平
- ※ **あなたのためのおべんとう コンクール**
東京都公立中学校PTA協議会長賞 千葉市立末広中学校 神崎 美帆・福嶋 望夏・三笠 真美
- ※ **ロボットコンテスト**
ベスト16 一宮町立一宮中学校 “一宮A”
- ※ **生徒作品コンクール**



(財)つくば科学万博記念財団理事長賞
山口 純平(富津市立大貫中学校3年)
マルチラックとアクリルLEDライト

——木工作品展にて——

平成26年3月1日(土)～2日(日)にかけて、千葉市にある複合施設 Qiball (きぼーる) にて木工作品展(主催 千葉県木材振興協会)が開催されました。



——編集後記——

今年度も県の技・家だよりを皆様のご協力を頂き、第3号を発行することができました。今回は、山本会長、加藤副会長からの原稿、全国中学校創造ものづくりフェア、木工作品展の作品を掲載させて頂きました。次年度も、各支部の作品展や関東・甲信越大会や全国大会に関する記事を掲載していきたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。 千葉県教育研究会 技術・家庭科部会 広報部
(千葉市立打瀬中学校 北島 啓行)